

「外国人とお泊り会②～羊から何ができるかな～」

12月16日(土)～17日(日)に「外国人とお泊り会②～羊から何ができるかな～」を行いました。羊毛フェルトでクマのキーホルダー作りやイングリッシュゲームをしました。小学生50名、講師6名(小島先生、ポール先生、デイシャ先生、アメリカ先生、パメラ先生、クエンティン先生)、ボランティアスタッフ8名の参加で開催しました。まず最初に体育館でポール先生、デイシャ先生、アメリカ先生の考えてくれたイングリッシュゲームをしました。



「雪だるまの福笑い」では各チームに分かれて、帽子から顔、腕、胴体と描く部分でバトンタッチで交代しながら、みんなで雪だるまを完成させました。ドッジビーではたくさんのディスクが飛び交いみんな大興奮!!



体育館でいっぱい体を動かした後は、羊毛フェルトでクマのキーホルダーを作ります。小島牧場の小島先生から道具の使い方を教わり、羊毛フェルトを針でつついてクマの顔の形にしていきます。耳のかたちが細かい作業でしたが、みんな一生懸命がんばっていました。



夕食後、体育館で2度目のイングリッシュゲームです。今度はパメラ先生とクエンティン先生が盛り上げてくれます! 「Saimon says」というゲームで「Saimon says～!」のフレーズの後に続く言葉と同じ動作をします。「Saimon says～!」と言われてない時は(動かない)のですが、つつい動いてしまうひっかけゲームです。



そして、お絵かきゲーム「Pictionary」です。まず英語で書かれたカードを引いて、そこに書いてあるお題の絵をホワイトボードに描いて当ててもらおうというゲームです。かんたなお題から、むずかしいお題まで色々ありましたが、絵を描く人当てる人、想像力をふくらませながら正解するまでがんばっていました！



2日目、羊毛フェルトのクマのキーホルダーの仕上げに入ります！顔全体を整えて目、鼻を作っていきます。目や鼻をつけると一気に表情が出てきました！キーホルダーをつけて完成！かわいいクマが出来上がりました！前日にも増して完成させる喜びがあったことと思います。



(クマのキーホルダーができあがってみんな満面の笑みです！)

体育館で体をいっぱい動かした「ドッジビー」。バトンタッチでみんなで描き上げた「雪だるまの福笑い」。ひっかからないように耳をすませた「Simon Says」。絵を描いて当てる「Pictionary」。

クマのキーホルダーを完成させようと一生懸命集中して針をつついた2日間。みんなのがんばっている姿、楽しんでいる姿がとても印象的でした。みんなの思いが詰まったクマのキーホルダーと一緒に撮った集合写真。ふるるで楽しく過ごしたお泊り会として、みんなの記憶に残ってくれるとうれしいです。

